

## アルバータ研修 感想文

工学部 材料応用化学科 2年 佐川咲

私は、今年カナダのアルバータ研修プログラムに参加しました。以前から、留学に興味があったので二年生の夏期休業を活かせる 1 ヶ月の短期留学にまず挑戦してみようと思い、このプログラムを選びました。内容としては、午前中に大学での授業、午後はアルバータ大学の学生が実施しているアクティビティに参加したり、大学の見学をしたりと非常に充実した学習プログラムでした。

到着してすぐ、私たちのカナダでの生活をサポートしてくれるアルバータ大学の学生スタッフが出迎えてくれ、ロストバゲッジのハプニングにも落ち着いて対応してくださり、とても心強かったです。それから、授業の説明、1 週間を過ごす寮の案内、“summer social”（正装で参加するパーティー）と留学生活が始まる中で、毎回わかりやすいように説明してくれたり、相談に乗ってくれたり、年齢もそんなに変わらないのに、1 人で大勢の人をまとめ、積極的に私たちと関わってくれる姿に刺激を受けました。

次に、授業は女性の先生が一人で最初から最後まで受け持ってくださいました。1 日ごとに様々な分野のテーマが決められており、そのテーマについて動画を見たりリスニングをしたりして理解を深め、グループディスカッション、プレゼンテーション等を通してアウトプットするという内容でした。たまに先生の英語が聞き取れなかったり知らない単語が多かったりしましたが、難易度はちょうど良いと感じました。また、先生が間違っても絶対に否定せず、聞き取れなかったら分かるまで説明してくださったので、分からないことや間違えることを恐れず発言できました。日本ではなかなかないとても良い環境だと感じました。

後半はホームステイを体験しました。生きてきた環境も言語も全く違う家族と衣食住を共にすることに、はじめは不安半分楽しみ半分でしたが、いざホームステイを始めるとその不安はまったくなくなりました。ホストファミリーは、「分からないことは何でも聞いていいし、言いたいことは絶対言って欲しい。そしてここは、あなたの家だと思ってね。」と最初に言ってくれ、家族みんなで歓迎してくれました。毎日学校から帰ったら子どもたちと遊び、ホストマザーとお互いの文化や価値観、雑談などについて毎日何時間も会話し、映画やお買い物に行って本当の家族のような関係を築くことができました。英語のスキル向上の一助となったのは言うまでもなく、ただ日本で生活しているだけでは絶対に出会うことのなかった人とたくさんの思い出を作ることができたので、私はこのホームステイが一番心に残っています。留学は、ただ英語力を向上させるためのものではなく、新しい人と出会い価値観を共有し新しい文化を知ることができるものだと思改めて感じました。

また、カナディアンロッキーツアーではカナダの大自然に触れ、その壮大さと美しさに最初から最後まで感動しっぱなしでした。同じ熊本大学のメンバーとも、このロッキーツアーを通して親睦が深まりました。

時差や食事の違い等、とにかく慣れないことと初めてのことばかりでしたが、ホストファミリーをはじめアルバータ大学の先生、学生、熊本大学の学生、そして黒田先生のご支援のおかげで、一生忘れない 1 ヶ月になりました。このプログラムを選び参加して本当に良かったです。来年以降もよりたくさんの学生がこのアルバータ研修に参加し学ぶことを願うと共に、参加者は素晴らしい経験ができることを確信しています。